



祝 辞

第33回沖縄青少年科学作品展が開催されるに当たり、お祝いの言葉を申し上げます。

沖縄電力株式会社におかれましては、33年にわたり沖縄青少年科学作品展を主催され、青少年の科学に対する興味・関心を高め、沖縄県の科学教育の振興に資するとともに、地域産業の担い手となる人材の育成に貢献されていることに対し、心から感謝申し上げます。

本日、表彰を受けられる皆さん、誠におめでとうございます。皆さんの作品は、いずれも創意工夫を凝らしたもので感心しております。

昨年、ノーベル化学賞を受賞した二人の日本人の恩師、ハーバート・ブラウン博士の言葉に「大きな樫の木も小さなどんぐりから」という名言があります。小さな第一歩の発見を探求してこそ、大きな成果に結びつくものです。皆さんには、これからも好奇心と探究心を持ち続け、夢や希望を追い求める人材として成長されることを願っております。

沖縄県においては、科学技術の振興や多様な人材の育成を重点施策として掲げ、様々な事業に取り組んでおります。また、国とともに、自然科学系の世界最高の研究・教育水準を有した沖縄科学技術大学院大学の開学に向け準備を進めています。この沖縄青少年科学作品展を契機に、将来、皆さんが同大学への進学など科学の道へ進めば、沖縄からのノーベル賞受賞者誕生もきっと夢ではなくなることでしょう。

結びに、沖縄青少年科学作品展のますますの御発展を祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

平成23年2月12日

沖縄県知事 仲井眞 弘 多



ご挨拶

第33回沖縄青少年科学作品展の表彰式にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

本作品展は、本県青少年に科学作品や研究成果を発表する機会を与えると同時に、理科・科学への興味・関心を高め、作品づくりや研究を通して、夢や希望を育むものであり、主催者の沖縄電力株式会社には、深く敬意を表します。

さて、受賞された皆さん、誠におめでとうございます。本日の受賞は、皆さんが日頃から「なぜだろう」「どうしてだろう」といった疑問や、不思議に思ったことを解明しようと取り組んだことが高く評価されたものであります。皆さんの科学を探究する心に大変感動いたしました。また、御指導された先生方、そして常に励ましてくださっている保護者の皆様には、心からお祝い申し上げます。

去年は、ストップ温暖化「一村一品」大作戦全国大会で宮古総合実業高校が、また、「バイオ甲子園」で中部農林高校が入賞するなど、毎年、本科学作品展で認められた作品が全国大会でも入賞しております。また、自作の電気自動車で走行距離を競う「エコデンレース」において、那覇工業高校がバッテリー部門のワイパーモーターの部で優勝し、2連覇を飾り、さらに宮古工業高校が同部門の第2位に輝きました。これらは、本県の児童生徒が全国トップレベルの研究・開発力を持っていることを証明するものと言えます。

今年の入賞作品を見ましても、豊かな発想とアイディアにあふれた作品や、長期間にわたってねばり強く研究を続けたレポートなど、いろいろな視点から取り組まれており、どの作品も内容や表現に工夫が見られ、皆さんが熱心に取り組んだ成果には目を見張るものがあります。きっと、見学する方々を感動させてくれるものと確信しております。

受賞された児童生徒の皆さんには、本日の受賞の喜びと感激を忘れることなく、科学する楽しさや未知の世界を探究する心、最後までやり遂げるねばり強い態度をこれからも持ち続けて頑張っていたきたいと思います。

沖縄県教育委員会におきましても、児童生徒の皆さんが、自然を愛し、楽しく科学できるようにするため、地域の自然や文化遺産など地域素材の積極的な教材化などの理科教育の充実・発展に努めているところです。

むすびに、この事業のために多大な御尽力を賜りました沖縄電力株式会社をはじめ、運営委員の皆様、並びに関係各位に心から感謝を申し上げ、あいさついたします。

平成23年2月12日

沖縄県教育委員会
教育長 金 武 正八郎



主催者挨拶

皆さま、おはようございます。第33回沖縄青少年科学作品展の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

今年で33回を数える本作品展は、応募数の増加や作品レベルの向上に伴い、今や沖縄を代表する科学作品展となりました。これも、沖縄県内の児童・生徒の皆さん、学校関係者の皆さまをはじめ、関係各位の多大なるご支援・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

特に優秀と認められ、本日表彰を受けられる児童・生徒の皆さん、おめでとうございます。また、ご指導された先生方、お子様達を励まし、温かく見守ってこられたご父母の皆さま、おめでとうございます。

日々のふとした疑問や興味を立派な研究に成長させた児童・生徒の皆さんの素晴らしい発想と努力に敬意を表すると共に、さらなる科学の発展に向けてその情熱を持ち続けることを期待します。

昨年、2人の日本人がノーベル化学賞を受賞しました。彼らの偉大な研究も、最初は素朴な疑問や興味から地道な研究を重ね、世界を変えるような、そして人類の役に立つ大きな成果となったものです。今回の作品展は「**世界を変える、君の発想!**」をテーマに、開催されます。ぜひ、児童・生徒の皆さん一人一人の発想が、将来、世界を変え、世の中の発展につながっていくことを願い、期待しております。

この受賞を機に、科学に対する関心をさらに深めていただくとともに、ご兄弟やお友達といった周りの方々にも、科学の楽しさ、実験の面白さをどんどん伝えていただければと思います。

私たち沖縄電力は、皆さんが科学に対する関心をますます深めていただくことを期待し、本作品展を通して沖縄県の科学教育の振興と人材育成を応援してまいりたいと思います。

最後に、ご多忙の中、本日ご臨席を賜りましたご来賓の方々、本作品展に多大なご協力をいただきました沖縄県、沖縄県教育委員会、理科教育に携わる多くの先生方、並びに関係各位に心から感謝申し上げます、主催者の挨拶といたします。

平成23年2月12日

沖縄電力株式会社

代表取締役社長 石嶺 伝一郎



実行委員長あいさつ

第33回沖縄青少年科学作品展の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年は、2人の日本人がノーベル化学賞を受賞、小惑星探査機「はやぶさ」による世界初の小惑星の物質回収と7年ぶりの地球帰還など、日本人科学者の活躍に胸が躍ったことと思います。この素晴らしい出来事が科学の可能性や未来への夢、世界を変える力を感じさせてくれたように、科学に対する探究心と発想を大事に育んでいてもらいたいと思います。

今年の作品展には、小・中・高等学校、アメリカンスクールから、総数144点もの応募がありました。小・中学校部門では各学校における審査の後、各地区の作品展において選抜され、「沖縄県児童生徒科学作品展」で優秀と認められた作品となっており、身近な生活や自然の中で感じた素朴な疑問に対し、地道な観察を重ねた力作揃いです。高等学校部門では優れた観察眼と分析力に目を見張るような作品も多く、沖縄から全国へ、そして、世界へと羽ばたき、評価を得ている作品もあります。アメリカンスクールからは、多様な発想と着眼点による作品が集まりました。

このような素晴らしい作品の中から、めでたく表彰を受けられる児童・生徒の皆様、ご指導が評価され指導者奨励賞を受けられる教師の皆様、誠におめでとうございませう。日頃から熱心にご指導された先生方、ご父母の皆様にも改めて敬意を表したいと思います。

今回も全入賞作品の展示に加え、大好評いただいている県内の小・中・高等学校の先生方による「科学実験ステージショー」、例年参加者が多く人気の高い「チャレンジ実験コーナー」、全国大会で上位入賞を果たしている「ロボット競技コーナー」、当社の取組を紹介するコーナーやエネルギーを楽しく体験できるコーナーを設けております。

本作品展は、“青少年の科学に対する興味・関心を喚起し、沖縄県の科学教育の振興に資するとともに地域産業の担い手となる人材の育成に寄与する”ことを目的に昭和54年にスタートし、今年は「世界を変える。君の発想！」をテーマに開催いたします。

科学をより身近に感じ、楽しみ、ますます興味を深めていただくことにより、沖縄県における科学教育の発展の一助となれば幸いです。

最後に、本作品展の開催にあたり、多大なご支援・ご協力をいただきました沖縄県、沖縄県教育委員会、小・中・高等学校の理科教育に携わる先生方、ならびに関係各位に心から感謝申し上げます。

平成23年2月12日

沖縄青少年科学作品展
実行委員長 知念 克明
(沖縄電力株式会社 常務取締役)